

はたらくネット

企業で働く障害のある方や障害のある方を雇用している企業様の、「笑顔」とそれぞれの「想い」をお伝えします。

今回は令和2年1月30日にエル・パーク仙台ギャラリーホールにおいて開催された「障害のある方の雇用促進フォーラム」をご紹介します。

第1部では高橋新悦・仙台市副市長から、障害者雇用貢献事業者の皆さまへ市長感謝状が贈呈されました。第2部では当センター職員も登壇し、障害者雇用シンポジウムが行われました。



「障害のある方の雇用促進フォーラム」とは？

障害のある方の雇用促進に取り組んでおり、その中でも特に顕著な功績があった事業者の皆様に感謝状が贈呈されるほか、障害のある方の就労について、より多くの方々に理解を深めていただく機会として仙台市が開催しています。

令和元年度 障害のある方の雇用促進フォーラム

第1部

障害者雇用貢献事業者への感謝状贈呈式

～令和元年度 障害者雇用貢献事業者の皆さま（五十音順、敬称略）～

社会福祉法人 泉寿会／株式会社 宮城総合給食センター／株式会社 Wiz仙台支社

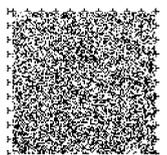
※各事業者様の取り組みについては次ページ以降でご紹介いたします。



第2部

障害者雇用シンポジウム「長く働き続けるために大切なこと」

障害者雇用に取り組む企業と就労支援機関の担当の方6名が登壇し、障害のある方が長く働き続けるために大切な、仕事のマッチングと職場定着に向けた支援について、意見交換会を実施しました。



企業からの声

障害のある方も貴重な戦力だと考えています。面談を大事にしており、その方に何ができるかを考えています。ご本人と仕事のマッチングが大切ではないでしょうか。また、ご本人には、自分のことを自分で伝えられるようになってほしいと思います。そうすることで適切な配慮をすることができます。プライベートな問題で就労継続が難しくなることがあるため、支援機関にはご本人のプライベートな部分も含めて支えていただきたいと思います。



支援機関からの声

就労してから半年、その後は定着支援事業の利用で3年半のフォローに入ることができます。企業様には是非、利用していただきたいと思います。ご本人からの発信がない場合もありますので、企業様のほうで何か気になることがあれば気軽に相談していただきたいと思います。

企業側の目線も大切にしており、就労継続のための情報として企業様へは就労者が躓いたときどのように乗り越えたのかなどをお伝えしています。

～登壇者の皆さま～

- 藤沼 紀行 氏 (株式会社アイエーオートボックス 営業推進部 管理部長)
瀬川 由美 氏 (パーソルチャレンジ株式会社受託サービス第2事業部 仙台グループマネジャー)
西野 博晶 氏 (みやぎ生協協同組合 労政部 厚生課)
穴戸 美輝 氏 (株式会社チャレンジドジャパン 就労移行支援・定着支援事業所
就労支援センター ひゅーまにあ仙台中央 センター長)
佐藤 大介 氏 (株式会社ミツイ 就労移行支援・就労定着支援事業所 Rickeyクルーズ
統括ゼネラルマネージャー)
齋藤 涼平 (仙台市障害者就労支援センター マッチングチームリーダー)

令和元年度 障害者雇用貢献事業者の皆さまのご紹介 (五十音順、敬称略)

社会福祉法人 泉寿会

設立 2001年7月16日
代表者 理事長 根本 忠信
事業内容 介護事業

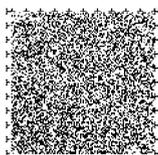
障害のある方の雇用状況

身体障害者1名・精神障害者1名・知的障害者2名



やりがいのある働きやすい職場環境の実現

社会福祉法人泉寿会ではご高齢の方の介護事業を運営しており、現在4名の障害のある方が活躍中です。



施設の清掃や洗濯を担当する3名はリーダーの指示のもとチームでの業務を行っています。リーダーは施設長からの厚い信頼のもとやりがいをもって仕事に取り組んでおり、後輩であるチームメンバーへの指導も行っています。3人チームでの業務は施設にとってなくてはならない戦力となっています。

また、法人全体で手厚い人員体制を構築し、きめの細かい介護サービス提供にあたっており、離職の少ない職場を作っています。だれにとっても働きやすい環境の中、ご高齢の方の笑顔と感謝の言葉に働きがいを感じています。職場の皆さんの相互理解が就労継続へとつながっています。

障害特性への配慮

2名の知的障害の方は特別支援学校からの実習を経て就労しています。就労後も実習時と同じ方からの指導体制を継続しており、一貫性のある安定した業務を行うことができています。

また、勤続途中に身体障害になられた方へも、安心して仕事に復帰できるよう、代替職員の配置、引継ぎを行い、復職の際にも勤務の時間調整をするなどの配慮を行いました。今では体調も落ち着き安定して就労しています。

株式会社 宮城総合給食センター

設立 1996年1月30日

代表者 代表取締役 津田 孝

事業内容 食料品製造業

障害のある方の雇用状況

身体障害者2名・知的障害者1名



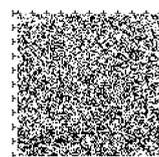
ジョブマッチングと支援機関との連携

株式会社宮城総合給食センターでは、市内をはじめ県内の学校給食や加工食品の製造をしています。支援学校の生徒さんたちの工場見学や、関係支援機関からの実習受け入れも行っています。

現場で働く知的障害のある方は、事前の打ち合わせと職場体験による見極めをしっかりと行い、十分にマッチングを考慮した上での採用となりました。自宅からの通勤は地下鉄とバスを乗り継ぐ必要がありましたが、就労移行支援事業所の協力により、通勤経路を可視化した手順書を作成したことで、一人でも通勤することが可能となりました。このことから、会社内での作業においても、業務手順書の作成や作業目標を可視化して示すなど、特性に配慮した取り組みを行っています。

会社としての理念

津田代表取締役の「会社は人生を豊かにする道具」という考えのもと、雇用率だけにこだわらず、障害のある方にとっても働きやすい職場環境の整備に会社を挙げて取り組んでいます。雇用担当者が障害者雇用に関する外部講習会に参加するなど知識向上に努めているほか、障害理解に関する社内勉強会を開催するなど、会社全体でのフォロー体制構築を進めています。



株式会社 Wiz 仙台支社

設立 2012年4月18日

代表者 代表取締役社長 山崎 俊

事業内容 IoT事業、ICT事業、WiFiプラットフォーム、
キャッシュレス事業、開店ポータル事業、
保育サポート事業、ライフライン事業、
求人メディア事業

障害のある方の雇用状況

精神障害者12名(会社全体24名)



突出した仙台支社での取り組み

株式会社Wiz(ワイズ)は、ITの総合商社として2012年に設立しました。現在は本社を含め全国に18支社あり、仙台支社は2015年に開設しました。

2017年から精神・発達障害の方を積極的に採用しており、会社全体での障害者雇用24名のうち、仙台支社では12名を雇用しています。仙台支社から始まった障害者雇用を支社のモデルとして広げ、
「100年先も成長し続ける企業」を目指し、会社全体で障害の有無に関係なく、働く力をつけて社会に貢献するメンバーを育てています。

ITをフル活用した多様な働き方の実現

障害があっても働ける環境づくりに注力しています。出社型・在宅ワーク・混合型と、働き手の個性にあった柔軟な勤務体系をとっています。在宅ワークの方には、市内ではまだ少ない完全リモートでの就労環境を実現しました。ITを活かした労務管理を行い、指示については文字チャットにより伝達するなどの配慮を実施しています。上級心理カウンセラーがメンタル面の管理、生活面の相談を行い、課題の吸い上げによる環境改善を図るとともに、長期的に雇用できる体制を整えています。

また、働く障害のある方がピアサポーターとして他の障害のある方と体調変化や仕事・プライベートについての悩みを共有する場を持つことで、お互いにフォローしながら問題解決できる環境作りをしています。

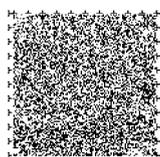
仙台市障害者就労支援センターは

障害のある方の「働く」を応援します！

企業様の「障害のある方の雇用」をお手伝いします！

支援機関と手を取り合って障害のある方の雇用を支えます。

仙台市障害者就労支援センターでは、障害者雇用における様々な取り組みを行っております。詳細は当センターのホームページをご覧ください。



発行：仙台市障害者就労支援センター(指定管理者：社会福祉法人仙台市障害者福祉協会)
住所：仙台市泉区泉中央2丁目1-1 泉区役所東庁舎5階
電話：022-772-5517 FAX：022-772-5519
Eメール：info@sendai-wsc.jp ホームページ：http://www.sendai-wsc.jp/